

5月号

# 子育て支援センターだより



— 令和8年5月1日 —

## ◆ 平泉町子育て支援センター ◆

### 【こいのぼり制作】

児童福祉週間にちなみ、二葉きらり園・長島こども園のこどもたちと一緒にこいのぼりを制作しました。

0歳児から3歳児までのこどもたちは手形を押し、大きなこいのぼり(共同制作)のうろこになっています。

4歳児、5歳児は封筒に模様や絵を描き、個性豊かで元気いっぱいこのこいのぼりが出来上がりました。



4・5歳児が制作したこのこいのぼりは、役目を終えた封筒を裏返して再利用したものです。これは「アップサイクル」といって、工夫してもっと素敵なものへと生まれ変わらせる取り組みです。

廃材なども「これ何に変身させようかな?」とワクワクしながら考える経験は、子どもの豊かな想像力と、ものを大切にする心を育ててくれます。小さな取り組みですが、ご家庭でも地球環境について考えるきっかけになれば嬉しいです。

このこいのぼりは平泉町役場入口に飾ってありますので、ぜひご覧ください。こいのぼりのように、子どもたちが元気にすくすくと成長できますように願っております。



## 園開放・園庭開放

○場所 二葉きらり園(園庭・園舎) ☎ 46-2767・46-2575

開放日 毎週 月～金曜日 9:00～16:00

○場所 長島こども園(園庭のみ) ☎ 46-2007

開放日 毎週 水曜日 9:30～11:00



子育て支援センターでは、園庭・園舎を開放しています。園のおもちゃや、手作りおもちゃで遊べます。子育て支援の職員が常駐しているので、初めての方でも安心して利用できます。

### 〈5月の行事予定〉

#### みんなの広場「みんなであそぼう」



○日時 5月14日(木)

9:30 受付 10:00～11:00

○場所 子育て支援室(二葉きらり園内)

○持ち物 水筒(お茶か水)、各自必要な物

○内容 いちごつみごっこをしてあそびましょう

★申込期限 5月13日(水)

※次回予定…6月11日(木)「紙を使ってあそぼう」

### 給食試食会のお知らせ



【日 時】 5月14日(木) 11:30～13:30

【場 所】 子育て支援室(二葉きらり園内)

【メニュー】 さんが焼き・ごま和え・すいとん汁・オレンジ

【持ち物】 お弁当箱に白いご飯(2人分)、お箸またはスプーン、おしぼり、水筒(お茶か水)

【費 用】 親子500円(一人250円) ※当日に集金します

【申込期限】 5月13日(水) ※先着2組

※次回予定…6月11日(木)

※みんなの広場、給食試食会ともに前日までの申し込みになっております。ぜひご参加ください。

平泉町子育て支援センター(町立二葉きらり園内) ☎46-2767・46-2575

# ピヨピヨ広場

4月8日のピヨピヨ広場は、5組の親子が参加しました。絵本の読み聞かせでは耳を澄まして聞いている子も多く、おめめぱっちりかわいらしい表情いっぱいでした。その後は、今年度の子育て支援各種事業についての紹介をおこないました。子育てをしていると忙しくてなかなか身動きがとりづらくなりますが、是非ピヨピヨ広場を始め、様々な事業やサービスを利用してもらいたいと思います。

分からないことがあれば、いつでもお気軽にご連絡ください。



## <今月の予定>

日時 5月13日(水) 9:30~  
 内容 身体測定、個別相談、絵本の読み聞かせ  
 赤ちゃんの発達を促す遊びについて  
 場所 平泉町学習交流施設エピカ  
 1Fだんらんコーナー・おはなし室  
 持ち物 母子健康手帳、赤ちゃんに必要な物  
 (おむつ、ミルク、タオルなど)  
 問合せ先 平泉町子育て支援課 電話 34-5548



- 離乳食教室、9か月児相談を同時に実施しています。
- 相談等については個別でも対応しています。希望される方は、ご連絡ください。



ピヨピヨ広場・次回予定  
6月3日(水)



## ★平泉町福祉活動センター アピユイ★



就学前から小学生くらいまでのお子様が遊べる遊戯室を常時開放し、町内外を問わず、予約なしで誰でも利用することができます。とても広い遊戯室にボールプールや滑り台を設置しており、絵本やおもちやも自由につかって遊べます。館内は冷暖房完備しております。お気軽にご利用ください。



【場 所】 平泉町福祉活動センターアピユイ  
 【開放時間】 10:00~16:30  
 保護者同伴の未就学児  
 15:00~16:30 小学生  
 【休館日】 土日祝日  
 【電 話】 46-5658



## 知ってるともっとおいしい! 春の食雑学



たけのこは1日になんと最大1メートル近く伸びることもあります。「雨後のタケノコ」ということわざがあるように、雨の後は特にぐんぐん育ちます。子どもたちが「まっすぐ、元気に育つように」という願いを込めて、こどもの日に食べられることも多いです。

菜の花やふきのとうなど、春の野菜には独特の「苦味」があります。この苦みの正体は「植物性アルカロイド」という成分で、冬の間、ゆっくりしていた体を目覚めさせ、老廃物を出すのを手伝ってくれるといわれています。「春の野菜は体を起こしてくれる魔法の味だよ」などと伝えると、一口挑戦してくれるかもしれません。

春キャベツは葉が柔らかくて甘いので、サラダなど生で食べるのがおすすめです。ビタミンCもたっぷりなので、新しい環境で少し疲れが出やすいこの時期、春キャベツを食べて元気いっぱい過ごしましょう。